



稻作コンソーシアムのご案内

# 水田のメタンガス削減に取り組み、J-クレジット制度に参画してみませんか？

水稻栽培において、

中干し期間を7日間（※）以上延長することでカーボンクレジットを創出することができます。

(※)直近2か年以上の平均実施日数より7日間以上延長する

## □ J-クレジット制度とは

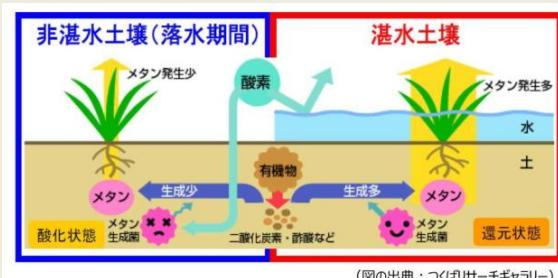
J-クレジット制度とは、省エネの導入や再エネの利用、農林業による取り組み等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度で、経済産業省、環境省、農林水産省が運営している国が認証する制度です。

## □ 稲作コンソーシアムとは

J-クレジットの登録・申請には数百万円の費用と手続き者類策の手間がかかるため、参加者を募りまとめて申請、登録する「稻作コンソーシアム」が2023年4月に発足されました。

## □ メタンガスの発生要因

湛水（水を満たした状態）土壌の場合、メタン生成菌からメタンガスが発生するため、落水期間（中干し期間）を設けることでメタンガスの発生を抑制できる。



## コンソーシアム参加メリット



**登録費用・クレジット申請  
登録手続きが不要**

稻作コンソーシアム登録費用は無料。  
中干し延長を実施できなくてもペナルティはございません。



**Agreen（アグリーン）を活用しクレジット  
創出における質の向上と工数削減**

独自のJクレジット申請システムAgreenで  
簡易的に申請が可能。



**クレジット創出による  
副収入取得**

クレジットの売買益を副収入として獲得  
することができます！



**環境配慮米として  
ブランディング化**

環境に配慮したお米としてブランド価値を  
付与して新規販路の拡大やPRが可能に

# ご提出 必要情報

## 1 圃場の住所・面積

## 2 過去2年の中干し記録

(作業日誌・営農支援サービス・生産管理記録等)

## 3 排水性の実測のための日減水深の写真

## 4 過去の中干し期間ごとの圃場のグループ分け

## 5 圃場の住所・面積の根拠となる書類

(営農計画書・水稻共催細目書等)

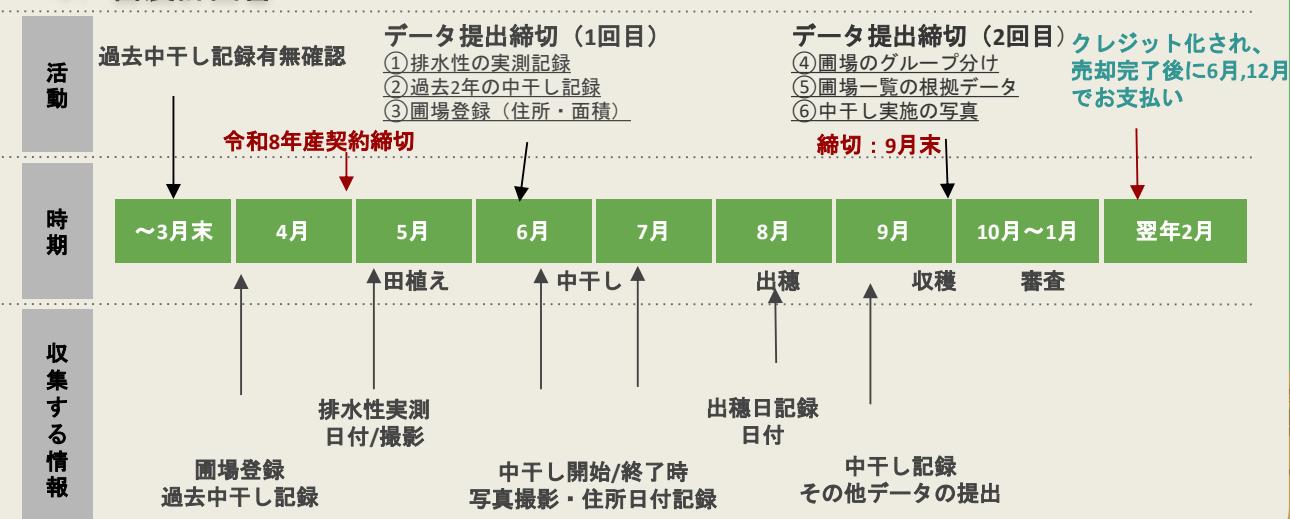
## 6 今年度の中干し実施写真

(取水口・排水口・全体の様子を開始時と終了時に)

## スケジュールイメージ

### 下記情報の提出で申請可能です

- 直近2年間の中干しの記録
- 田植え前の日減水深測定（生産者あたり代表1圃場）  
※測定できなくても申請可能
- 中干し期間の延長時の撮影（グループ毎代表1圃場）+出穂/収穫日
- 営農計画書



green carbon 会社案内動画はこちら

